

受領No.1518

## メディアコミュニケーションのリデザイン ——〈身体性〉・〈言語〉・〈環境〉に着目した応用哲学的探究

代表研究者 呉羽 真 山口大学 講師  
共同研究者 藤川 直也 東京大学大学院 総合文化研究科 准教授  
久木田 水生 名古屋大学大学院 情報学研究科 准教授



### Redesigning mediated communication in terms of applied philosophy concerning embodiment, language, and environment

Representative Makoto Kureha, Yamaguchi University, Associate Professor  
Collaborator Naoya Fujikawa, Graduate School of Arts and Sciences, The University of Tokyo, Associate Professor  
Minao Kukita, Graduate School of Informatics, Nagoya University, Associate Professor

#### 研究概要

新しいコミュニケーションメディアの登場とコロナ禍の影響によって、メディアコミュニケーションを巡る様々な社会的問題が生まれている。これらの諸問題の一因は、ある種のコミュニケーションのあり方を特権化する従来の偏狭なコミュニケーション観にあると考えられる。本研究では、こうした状況を踏まえて、応用哲学の観点に基づき、メディアコミュニケーションの「リデザイン（再設計）」に取り組む。コミュニケーションとは、様々なメディアやその利用に関する慣習によって形作られた、設計／再設計可能なアーティファクトである。メディアコミュニケーションにおいて行われる言語的・身体的活動を暗黙裡に形作っている慣習や規範を問い直すことで、これまで見過ごされてきた身体性や言語を活かした、より多様なコミュニケーションの可能性が開かれる。そこで本研究では、コミュニケーション形態に応じた①身体活動、②言語活動、③環境条件を分析し、メディアコミュニケーションの再設計可能性を探索する。この作業を通して、コミュニケーションの可能性を広げるような新しいコミュニケーション観を提案し、メディアコミュニケーションを巡る諸問題の解決に貢献する。